

# 「みち再生検討会」の成果に基づく現場施工検討会 実施報告



H19. 4. 14(土)

午前10:00~12:00

高知工業高校 1F会議室

(サンプル見学)正門前歩道部

## 「みち再生検討会」とは

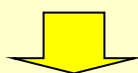
### 【背景】

県道桂浜はりまや線 棧橋通地区において

- ・多発する交通事故
- ・違法駐車・駐輪等による道路機能の低下
- ・バリアフリー化への不対応

### 【目的】

道路空間の有効利用を図りながら、安全・快適で使いやすい「みち」へと再生するための整備計画案を策定



### 【メンバー】

沿線住民, 町内会・町づくり関係者, 学校関係者, 視覚・身体障害関係者, 交通管理者, 道路管理者(国・県・市)等…合計 21名

平成15年度より、合計6回にわたり意見交換会を開催

平成17年度には、事業実施に向けた設計等の業務成果を報告

# 「みち再生検討会」成果の主な整備計画項目

- ①電線類地中化
- ②自歩道再整備(バリアフリー対応, **透水性カラー舗装**)



- ・歩道部表面を2色にすることで、自転車と歩行者の分離を図り、交通の安全性を高めたい。
- ・みち再生の基本テーマである「活気あふれるみちづくり」に相応しい色の組み合わせとして「茶褐色系」と「緑色系」が良い。

- ・茶褐色のほうが点字ブロックが見やすい
- ・車道側が緑のほうが車を運転者する人の目にやさしい
- ・民地側が茶褐色のほうがいろいろな色とマッチしやすく、沿線の建物の色の選択肢が多くなる

## 現場検討会の確認事項



**実施工に際して、サンプルを確認しながら**

- ① 茶褐色系&緑系の色を確定
- ② 茶褐色のほうが点字ブロック(黄色)がより見やすいかの確認

# 検討会状況 (高知工業高校会議室)



## 参加者

- ・「みち再生検討会」の各委員 (13名/21名中)
- ・視覚障害(弱視)者 (4名)

## サンプルについて

### BJ-レッド

- ・ブライトオレンジ
- ・ディープブラウン
- ・パイフェロックス



通常アスファルト  
m<sup>2</sup>当たり ¥2,597

脱色アスファルト  
m<sup>2</sup>当たり ¥3,613

### カムオサイドグリーン

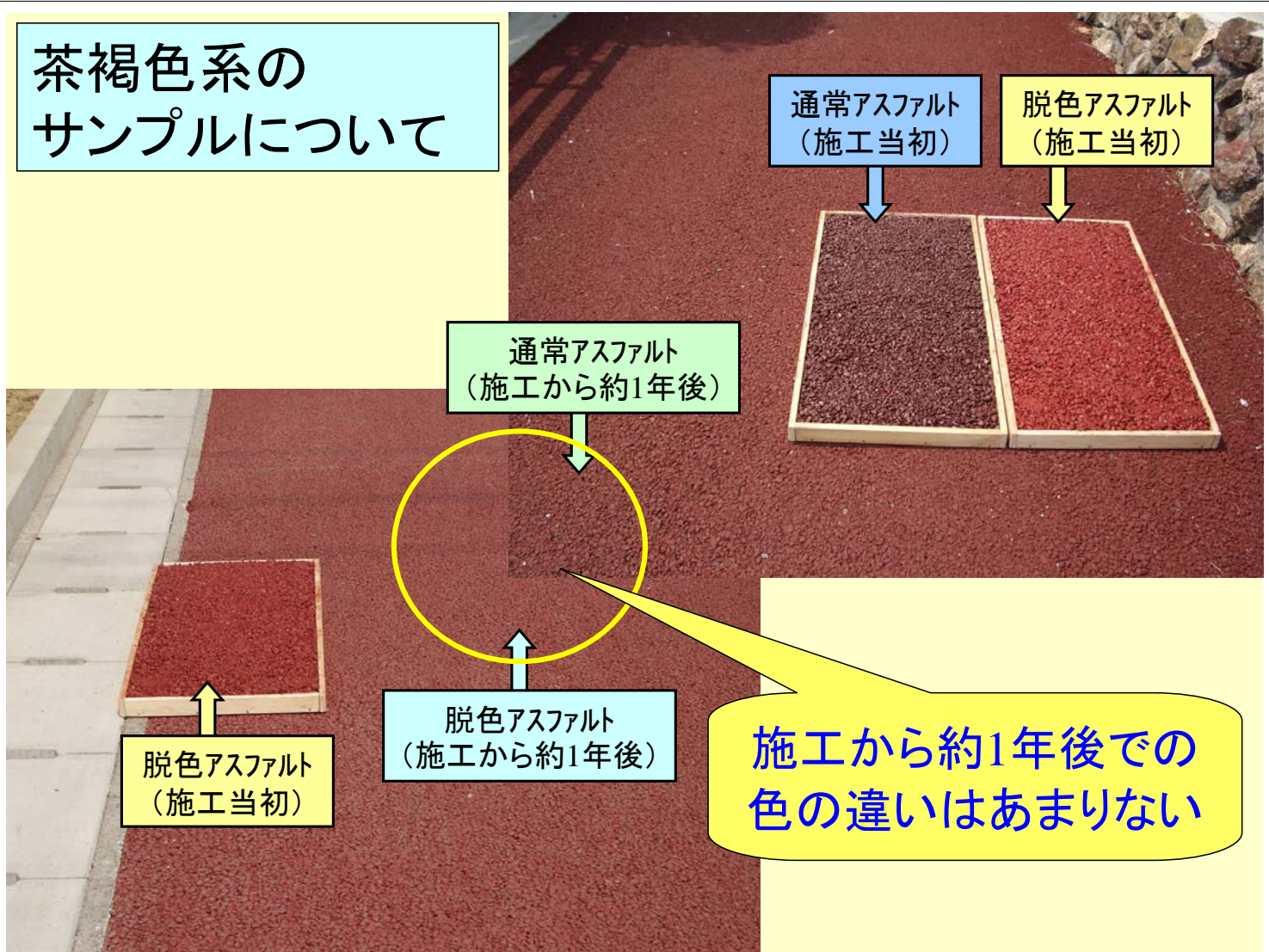


脱色アスファルト  
m<sup>2</sup>当たり ¥4,764

- ・茶褐色系の顔料として最も多く使用
- ・材料費(工事費)が最も安価
- ・工区南側で交差する国道56号歩道部と同系色

- ・緑系顔料はこの1色しかない
- ・通常アスファルトではほぼ黒色となる

## 茶褐色系の サンプルについて



施工から約1年後での  
色の違いはあまりない

## 意見交換内容

- ・ 個人差により点字ブロックの見やすさは微妙に異なるものの、それほど大差はない。(視覚障害者の方々)
- ・ 点字ブロック自体がサンプルのように明るい黄色であることが重要である。また2色の境界部に白線があることで自転車通行部と歩行者通行部が区別しやすくなる。(視覚障害者の方々)
- ・ イメージ図のように自転車通行部が緑、歩行者通行部が茶褐色の組合せで良いと思うが、茶褐色系の色については脱色Asのほうが街が明るく見えるので良い。
- ・ 茶褐色系のサンプルについて、一年後での色の違いは大差ないというが、施工当初では色の違いは明確であるし、5年後・10年後がどうなるかがわからないので明るい色にするべき。
- ・ 茶褐色系の色について、当然脱色Asの方が費用高になると思うが、それに伴い全体区間の工事施工年次に遅れが生じることはないのか (安価な方で施工したい思いはあるが、L=2kmで約8,000千円の程度差であり影響はないと思われる)

### まとめ

- ・ 歩行者通行部を脱色As(顔料BJ-レッド) で施工する。
- ・ 自転車通行部を脱色As(顔料コムオサイト'グリーン)

# 【参考】2色カラー舗装 境界部の白線(区画線)について

地域の声

- ・境界部分の色の違いをより明確にするため必要【景観的な配慮】



交通管理者(公安委員会)の見解(区画線を引くためには)  
現在の規制(普通自転車の歩道通行可)に**自転車の通行部分指定**を追加

【区画線及び、自転車マークによる路面標示が必要】

【目的】自転車と歩行者を分離したい

【必要策】(境界部に)白線が必要

双方一致

自転車通行部分の指定  
に向け現在手続中

歩道カラー舗装割付図 1/100

